

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔事務用品〕(店員)	販売量の動き	・需要期ということもあり全体的に売上増ではあるが、業種や業界によって調達する客としない客に分かれている。
		一般小売店〔書籍〕(従業員)	来客数の動き	・新入学、新学期を迎える4月のピーク前に、順調に来客数が伸びている。
		家電量販店(店長)	単価の動き	・販売数量が減ってきているが、商品単価が上がっている。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・3月は販売や車検などの繁忙期であり、暖冬少雪の影響もあるのか、少しではあるが売上が伸びている。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・学生の購入比率が増え、家族も一緒に購入するため、結果として販売台数は伸びた。しかし例年と比べると来客数は落ち込んでいる。
		美容室(経営者)	それ以外	・単価の高い美容小物類の売行きが良い。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・受注目標を達成するなど、引き続き好調な推移である。一昨年の消費税増税前の数字に回復してきている。消費税の再増税を意識した客の動きが本格化してきたのではなかろうかと推測される。
		住宅販売会社(従業員)	来客数の動き	・イベント来場者は想定以上に増えている。また、マイナス金利政策による金利の低下により、今が買い時とされている人が多い。
		住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・マイナス金利の影響からか、客から住宅ローンの問い合わせが多くなったと感じる。
	変わらない	商店街(代表者)	来客数の動き	・イベント用のフォーマルウェアは、例年通りの動きである。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・駅広場の整備がとりえず完了し、広場や電車、バスを見学に来る市民でにぎわってはいるが、商品の購買には結び付いていない。利便性を高めるため巨額の費用を費やして整備した広場も、公共交通本来の目的である市民の足としての機能はこれからのようだ。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・3月は特別な動きはなく、例年並みに推移している。
		一般小売店〔鮮魚〕(役員)	販売量の動き	・これまでと変わらない水準だが、好調な状態は継続している。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・必要なものを吟味して買うという客の姿勢は変わらないが、トラベルであったりお祝いやお返しなどの目的買いで来店する客が、例年より多く感じられた。
		スーパー(店長)	単価の動き	・依然として客の購入金額は変わっていない。今後、食品やたばこの値上げなどが予測されることから、景気状況は良くならないものと思われる。
		スーパー(総務担当)	販売量の動き	・鍋つゆなど、気温の変化により昨年より不振なカテゴリーはあったものの、全体としては昨年並みで推移している。
		スーパー(店舗管理)	販売量の動き	・客単価上昇による売上形成になっている。来客数は前年並みの推移であるが、1人当たり点数が落ちており、単価増で推移している状況である。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・来客数、客単価共にほぼ前年並みに推移しているが、主力の弁当や調理めん関係などは前年割れしており、調子が良くない。それに対して、コーヒーやスーパードリンクというか、アサイーなど健康志向のドリンク、野菜フルーツドリンクなどは好調に推移しており、それを買求める客が来店している。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・相変わらずの数字が並んでいる。昨年より気温は高いが、特にウィークデーの飲料などの数字に結び付いていない。	
	コンビニ(店長)	来客数の動き	・季節柄、来客数は増加しているが、前年比だけ見ると微減で、ほぼ同様の数値で推移している。4月からたばこの価格改定があるが、今回の値上げは少額ということもあり、駆け込み購入は全くといっていいほどなかった。	
	衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・当店舗がある商店街を中心にした話だが、小売業は押しなべて、すこぶる低調が続いている。その中でコンビニ、食料品店は堅調なようである。飲食店は良いところと悪いところがあるようだが、悪くはないように聞いている。その他の小売店はますます減少していくのではないかと。	

乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・例年の業界特有の季節要因を差し引くと販売量はあまり多くなく、景気が良いとは思えない。	
乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・年度末という季節的要因で増加はしているが、計画よりは1割近く低い。メーカーの配車遅れという原因もある。	
自動車備品販売店 (役員)	競争相手の様子	・決算セール、春商戦として、会員へ優待販促を打ったが、来客数、単価とも前年を下回る状況である。同業他社も安さを前面に価格訴求を通常時期より延長しており、全体的に単価の下落を招いている。	
その他小売 [ショッピングセンター]	お客様の様子	・買上単価は前年並みだが、買上客数が伸びない傾向が続いている。食料品や住まいの品は前年近くを維持できたが、衣料はずっと悪いままである。	
一般レストラン (統括)	来客数の動き	・県外や海外からの観光客が、冬から変わりなく多く来店している。地元客はさほど増えている感じはしないが、全体で若干増えている感じがある。	
観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・今年になり北陸新幹線効果も落ち着いて、3月は個人客を中心に前年並みの来客数及び売上高だった。	
観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・前年比総売上139%、宿泊人数116%、宿泊単価122%と、前年比では非常に良いといえる。北陸新幹線開業は前年3月14日だったので、前年は半月分が新幹線開業前であったことが数字上に現れている。今年は個人客のシェアが63%で、宿泊単価も大幅にアップしたことも要因である。	
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・昨年3月に北陸新幹線が開業して1年が経過した。今のところは引き続き宿泊が堅調に伸びている。しかし、レストランは地元客が減少していると感じる。宴会は、婚礼は減少しているが一般宴会は堅調に伸びている。	
都市型ホテル (役員)	販売量の動き	・宿泊部門は、北陸新幹線開業のリバウンドを危惧したが、ビジネス客の増加により堅調に推移している。レストラン部門は法人、個人需要の回復には至っていない。また、一般宴会も同様の傾向である。	
旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・自治体の地方創生加速化交付金に予算がついたところに着目している。	
タクシー運転手	販売量の動き	・北陸新幹線が開業して1年経過したが、それでもまだ関東方面からの観光客が訪れている。しかし、地元の会社の歓送迎会が少ないような感じを受ける。	
通信会社(役員)	販売量の動き	・例年の商戦期ではあるが、今年は国によるケータイショップへの指導の影響で、インターネットサービスの問い合わせや契約の動きが鈍い。	
競輪場(職員)	来客数の動き	・1人当たりの購入単価が、過去3か月はほぼ前年並みで推移している。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・受注が安定しない。また、同業他社との競合も激しくなっている。	
やや悪く なっている	一般小売店[精肉] (店長)	来客数の動き	・北陸新幹線が開業して1年が経過し、やはり集客力が落ち着いたような感がある。特に3月は駅周辺で1周年記念イベントがあり、そちらに客が取られたような感じもあった。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・例年、3月はお祝いや内祝などのギフト、ファッション関連の買換え、新生活準備品などの自家需要が活発に動くなど、購買モチベーションが高い時期である。しかし、本年は春物のファッション関連が苦戦している。特に消費をけん引してきた富裕層の買上が鈍い。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・株価の低迷やマイナス金利といった、一般の消費者から見るとどちらかというと財布のひもが固くなるような雰囲気はずっと続いている。例年この時期は、就職、卒業入学、人事異動などのお祝い関連のギフトが動くのだが、ここへきて客の声は、単価も下げて数も増やさないと、どちらかというと最低限度のお祝いだけをすするという声がよく聞かれる。
	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・様々な仕掛けを施してもなかなか集客がなく、予想外のへこみが発生している。
	スーパー(総務担当)	販売量の動き	・来客数以上に、1人当たりの買上点数が減少している。節約して、必要な物以外の購入を控えているようである。
	コンビニ(店舗管理)	来客数の動き	・買上点数の落ち込みと同時に来客数の前年割れもみられた。インフルエンザの流行が前年と比べて長期化しているのも要因だろう。
	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・積極的な生活をするための消費というより、生活を守るための消費になっているように感じる。

	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・これまで、景気が悪いと言いつつながらも何とかやってきたものが、閉店、倒産するという現実が出始めている。
	住関連専門店 (役員)	販売量の動き	・例年と比べ、販売数量が大きく減少した。客単価も上がらず、例年より動向が悪化している。
	その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	来客数の動き	・買上率、客単価などをみると、客の購買意欲自体は大きく変わっていないように感じるが、冬物については暖冬の影響を受け、アパレルを中心に苦しい結果となった。それ以上に周辺競合環境の影響が大きく、昨年夏に周辺エリアで大型商業施設が3店舗オープンしたことにより、当施設への来客数が減っている。また、北陸新幹線開業により金沢エリアへのアクセスも向上し、金沢駅周辺の商業施設も充実したため、そちらへも客が流れている。当施設も昨年春にリニューアルオープンをしたことで昨年前半は好調に推移したが、後半からの競合店オープンの影響が大きく、苦戦が続いている。
	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・3月中旬で北陸新幹線開業から2年目に入り、前年までの好調に陰りが出てきている。
	旅行代理店(所 長)	販売量の動き	・ゴールデンウィークの予約を含め、弱含みな動きである。
	タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前は12月で非常に忙しかったが、その時からみるとやや悪くなっている。ただ、今月は年度末や卒業シーズンであり、また暖かくなって観光客も増えてきており、前年の3月よりは良くなっている。
	通信会社(役 員)	販売量の動き	・新規獲得件数は昨年10~12月をピークに暫減傾向にある。昨年来続いていた景気の回復傾向は明らかに足踏み状態にある。
	通信会社(店舗 統括)	来客数の動き	・昨年に比べて、来客数が2割減少している。
	テーマパーク (役員)	来客数の動き	・北陸新幹線開業1周年を迎えたこともあるかもしれないが、2~3か月前と比べて3月は国内団体客の利用がやや鈍く、また海外からの客の数も少し鈍っている。全体として4~5%の来客数減少になりそうである。
	その他レジャー 施設(総支配 人)	来客数の動き	・大人の入退会は一進一退であるが、子供の退会が例年同様に多く出てしまって、会員総数が減少してしまった。
	悪く なっている	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き ・3月の販売量は前年同月比100%の見込みである。27年12月の販売量は前年同月比160%だったので、3か月前と比較してかなり下向きである。
		その他専門店 [酒](経営 者)	販売量の動き ・3月は卒業、入学、あるいは引っ越しなどにお金がかかるせいか、こちらのほうには全然入ってこないため物が売れない。歓送迎会の時期でもあるのだが、取引先の店に聞いても、歓送迎会を昔のように華々しくやらなくなり、全くやらないまたはこじんまりやるという感じで、あまり売上がないと言っている。そのような状況であり、当店も売上が上がらない。
		スナック(経営 者)	来客数の動き ・毎年10日から中旬までは静かな毎日が続き、後半に盛り上がっていくのだが、今回は団体客があったにもかかわらず低空飛行となり、前年同月の8割にとどまった。
企業 動向 関連 (北陸)	良く なっている	-	-
	やや良く なっている	司法書士	取引先の様子 ・商業登記分野で、事業承継が上手くいった関係での会社設立、役員変更、目的変更が多かった。
		税理士(所長)	取引先の様子 ・中小企業の製造業の中でも、工場の設備投資向けの工作機械あるいは製造設備の関係の会社の景気は2月までは厳しかったが、今月からかなり上向きになってきている。また、社長の見通しを聞くと、5月以降も受注の予定は安定しているとのこと、1か月前よりも良くなったという感じである。
	変わらない	繊維工業(経営 者)	取引先の様子 ・衣料については、川下の市場の動きがあまり良くない。非衣料については、低位安定というところである。また、衣料関係については、一部輸出が良い。
		一般機械器具製 造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き ・国内、米国市場は上向きであるが、欧州が伸び悩んでいる。その結果、相殺されている。
	やや悪く なっている	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量 の動き ・地域性、品目群別といった全てを考慮に入れても、全体的に商品販売量の伸張が落ちてきている。

	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・概して受注が厳しくなっており、前年同期と同じ量の確保に苦戦している。	
	精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・3月が年度末の取引先も多いが、その影響を差し引いてもリピート製品の仕入率は若干下がっているようだ。また一般小売店では、通常であれば土日の売上が多いのが当たり前だが、その際の数量も以前よりは落ちているのではないかとこの営業担当者からの情報がある。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、3月は年度末工期の工事の完成に追われ、かなりの多忙感があるが、今年は工事が少なく、ほとんど忙しさを感じない。	
	建設業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・北陸3県においては、安値で受注を確保する業者が見受けられ、受注価格競争が厳しさを増してきた。	
	金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・マイナス金利の導入など金融政策の変化により、金利対応が極めて厳しくなっている。事業性融資だけでなく、住宅ローンの利下げなどの申し出も増加している。しかし、金利低下により新規需要が発生しているわけでもなく、単に借換融資需要があるだけで、本来の需要ではない。	
	金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事の入札物件が少なく、業者間の入札価格が低下しているとのことである。建設業の受注が低下している。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者に聞いたところでは、法人関係の問い合わせ関係で、少し動きが出てきているという情報が聞かれた。	
	悪くなっている	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・先月くらいから、輸出関係、特に機械や繊維の出荷量の落ち込みが見受けられる。
雇用関連	良くなっている	-	-	
(北陸)	やや良くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・3か月前と比べ、1回の発行で50件ほど掲載件数が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・求人の掲載数は前年や前々年と比べて6割程度と、大きく数を減らしている。また、求人内容を見ると、正社員枠が昨年比で3分の1程度と大きく減っており、その比率は他の項目よりも圧倒的に減っている。ただ新卒採用についてはどの企業も採用意欲が大きく、全体として人手が足りている感はなく、正社員として採用する部分についてはある程度めどが立っている状態ではないと思われる。そつするとその正社員化した就業者がこれまでよりも消費に向かう可能性が高いと考える。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数を産業別でみると、前年同月比で情報通信業が若干減少したが、他の産業では全て増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人の状況は、建設業、製造業、卸売業、小売業で、やや求人が減っている状況であるが、宿泊業、飲食サービス業、医療福祉関係で求人が大きく伸びている。総じて、求人全体において、やや増加している。
変わらない		人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・応募に相応しい求職者数が少ない。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・先月までは登録者が多かったが、今月に入って登録者が激減した。直接雇用のニーズが増えてきているからなのだろうか。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月とほぼ同数となっている。また、ここ数か月は同様の傾向が続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・販売サービス系及び介護職を除いて、新しい求人が増えていない状況が続いている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業からの求人件数は製造業やIT関連企業を中心に、昨年より1割以上多く出てきており、求人意欲の高さが感じられる。企業にとっては即戦力の中途採用を諦め、新卒採用に目を向けてきている面もある。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き	・3月の求人広告売上は、前年同月比で4割減であった。
	悪くなっている	-	-	